



地域性を生かした“ここだけの”デザインイベントへ。 2018年6月、旭川デザインウィーク[ADW]第4回を開催します。

産地の展示会としては通算64回、リニューアルして4回目となるADWを開催します。今年のテーマは「Indi-Visual」。個の「らしさ」を大切にすることで、その集合体がほかにない魅力的な表情を生み出す。そんな旭川の層の厚いものづくりを、IFDAから製品化された新作や各社の新提案で表現します。また、トークイベントや織田コレクションなど、好評の企画を今年も引き続きご覧いただきます。

※入場は無料ですが、コンテンツにより有料となるものがあります。



ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2018

[会 期] 2018年6月20日(水)～24日(日)

[会 場] 旭川デザインセンター(北海道旭川市永山2条10丁目1-35) 入場無料
旭川市、東川町、東神楽町の各メーカー、工房、ショップほか

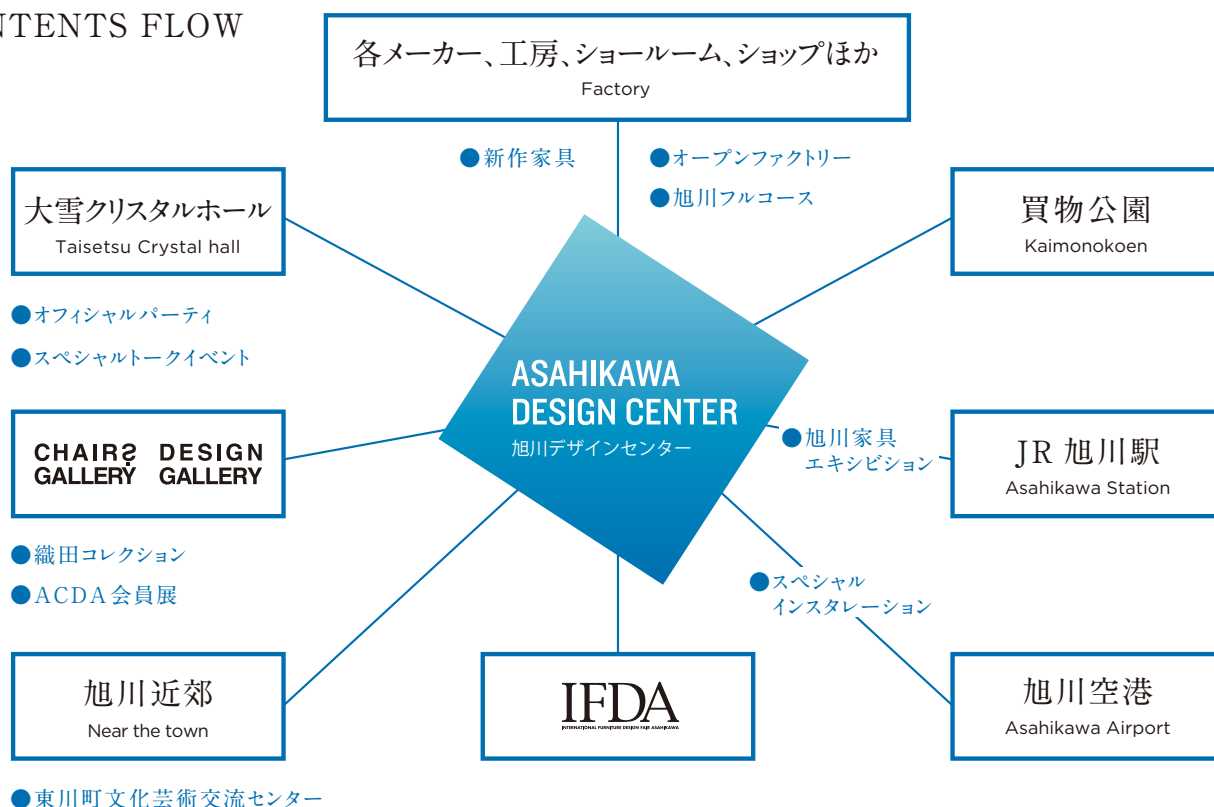
[website] <http://www.asahikawa-kagu.or.jp/adw/>

主 催 旭川家具工業協同組合、旭川市、旭川商工会議所

後 援(予定) (公社)インテリア産業協会、(公社)日本インテリアデザイナー協会、
(一社)日本インテリアコーディネーター協会、
(一社)日本インテリアプランナー協会、旭川デザイン協議会

来場者数の推移 2015年 5,700名
[2015-2017] 2016年 10,500名
2017年 19,500名(IFDA共催)

CONTENTS FLOW





メーカー各社が個性を競う「旭川家具エキシビション」。

昨年節目となる10回目として開催された「国際家具デザインフェア旭川2017」。そのメイン事業であるコンペティションの入賞入選作品から製品化されたものを中心に、メーカー各社の新作や新提案を合わせて発表します。

昨年のコンペ作を製品化

ゴールドリーフ賞「Korento(コレント)」



ミッコ・ハロネン



カンディハウス

IFDA2017で「造形の発展性と新鮮さ、バランス」などが評価された最高賞を製品化。彫刻的な造形と軽やかなデザインが特長のスタッキングチェアです。サイドチェア、テーブルとともに創立50周年記念モデルとして発表します。

入選「4_TREES coat hanger(4_ツリーズ コートハンガー)」



江上 功



大雪木工

「木々が寄り添うことで林立する」ような、部材同士の“ずれ”がモチーフとなったコートハンガー。ずれ方によって大きさや機能が変わります。目釘で部材同士の回転力を抑えると同時に、それがフックにもなる構造です。

入選「Kitchen stool(キッチンスツール)」



栗田 一行



メーベルトーコー

多様な作業をするキッチンで、快適な移動や立ち座りを実現するスツールです。デザインソースは、ちょっとお尻を預けられる「鉄棒」。座に無垢材を使いながら、ワンタッチで折り畳める身軽さと、繊細なプロポーションが特長です。

入選「ARC chair(アークチェア)」



牧野 仁



ワカサ

生活の中へ、潤いと少しの変化を提供するブランド「USCITA」(ウシータ・伊語で出口の意)。イタリアで活動し現在東京を拠点に活躍するデザイナー牧野仁氏とワカサが、IFDA2017を機に立ち上げたこのブランドの第1号モデルです。



各社の新作



「BOURG」
パトリック・ノルゲ / アルフレックス

世界を舞台に活躍するフランス人デザイナーのパトリック・ノルゲ氏とのコラボレーションから、シックで存在感のある対面式ソファが誕生しました。アームとシートバッククッションがパネルに固定され、美しい表情を保ちながらもメンテナンスしやすい構成。ワイドが最大295cmで、広いスペースでも風格を感じさせます。



「KA」
隈 研吾 / タイム アンド スタイル

2008年根津美術館（東京）の改築工事をきっかけに始まった、建築家隈研吾氏との製品開発。それから今回のソファ「KA」「FU」「MA」までの製品を新ラインナップとして発表します。三角形を組み合わせた「KA」は、エッジが際立つシャープな形とソフトなかけ心地のコントラストが特徴。



「キナ フロアー」
デイビッド・トルブリッジ / カンディハウス

IFDA10thの記念制作展に出品された独創的な椅子。IFDA2005でシルバリーフ賞を受賞した「キナライト」の進化形で、繊細なウニのモチーフを生かしながら、椅子としての強度と仕上がり感を持たせるべく開発しました。カンディハウスの創立50周年記念モデルとして製品化します。



「新作チェアシリーズ」
業天 昭人(匠工芸) / 匠工芸

2次元のアールを組み合わせる3次元曲面をつくり出すという発想から、椅子3モデルを開発しました。耐久性に富む素材を芯にした3層構造の背もたれが、心地よい弾力で体を支えます。ダイニングチェアはスタッキングが可能で、コントラクトにも対応。

〈参加企業・団体〉

○アーリー・タイムス アルファ ○アイスプロジェクト ○明石木工製作所 ○アルフレックス ジャパン ○いさみや ○インテリアナス ○インテリア北匠工房
○ウッドパーツ ○ウッドワーク ○エフ・ドライブデザイン ○オークラ ○ガージーカームワークス ○加藤木工 ○河本家具工業 ○カンディハウス
○北の住まい設計社 ○木と暮らしの工房 ○クリエイティブファニチャー ○工房ぶな ○工房ベッカー ○工房まみあな ○工房宮地 ○古径コスモ ○コサイン
○さいとうデザイン工房 ○さくら工芸 ○ササキ工芸 ○ソファ工房 ○大雪木工 ○タイム アンド スタイル ○匠工芸 ○ブランリビング ○フレスコ
○宮田産業 ○むう工房 ○メーベルトーコー ○山岡木材工業 ○よしの工芸 ○ルートにし ○ワカサ ○ドリーミーパーソン ○旭川・家具工房連
○ウサミ木工 ○滝澤ベニヤ ○山上木工

Asahikawa Furniture Industry Cooperative



広がり続ける「この木の家具・北海道プロジェクト」。

北海道の森の木で家具をつくる取り組み「この木の家具・北海道プロジェクト」は、今年で5年目となりました。メーカー各社が北海道産広葉樹を使った製品開発に取り組んでいることに加え、自治体や製材業社の協力体制も充実。産地としての使用比率が約1.3倍になっており、今年はより多彩な道産材製品を出展する予定です。

<http://www.asahikawa-kagu.or.jp/event/2014/06/post-8.html>

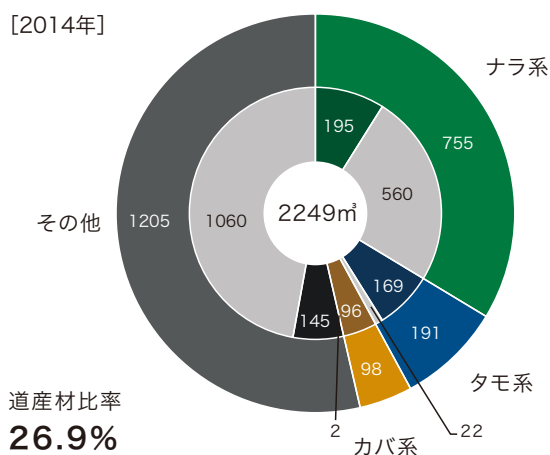


旭川家具・北海道産広葉樹の使用状況【2017年12月現在】

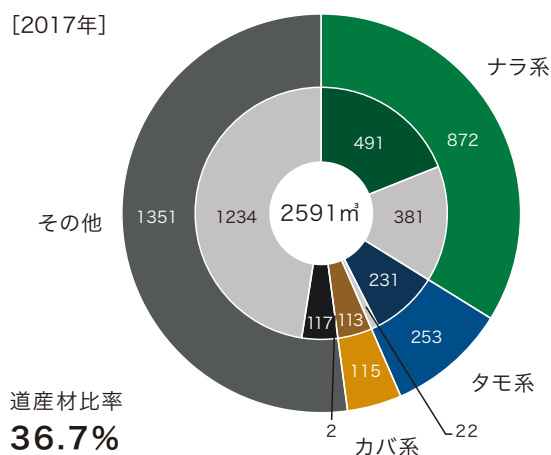
旭川家具工業協同組合の総生産高の62%にあたるメーカー14社より回答

※グラフの外側の円が全使用量、内側の濃い色が「北海道産広葉樹」、同グレーは北海道外材の使用量となります。たとえば2017年のナラ系では「491㎡」が北海道産です。

[2014年]



[2017年]





旭川の技の蓄積を知る「技能五輪出場の軌跡展」。

木工産地旭川からは、2007年静岡大会から2017年アブダビ大会まで6大会連続で、家具職種の日本代表（国内大会金メダリスト）を輩出しています。これまでも高度な木工技術を伝承し、若き技能者を育成してきた旭川の、長年の活躍を輝かしい記録で振り返ります。



旭川家具から技能五輪国際大会に出場した選手と成績

氏名	事業所名(当時の所属会社)	成績	開催国	開催年
桑原 義彦	山際家具工芸(株)	2位	スペイン・マドリッド(16回)	1967年
吉田 幸男	山室木工(株)	4位	ベルギー・ブリュッセル(18回)	1969年
大門 巖	(有)山際家具工芸	3位	西ドイツ・ミュンヘン(21回)	1973年
菅野 峰夫	(有)山際家具工芸	6位	オランダ・ユトレヒト(23回)	1977年
福島 克定	(有)山際家具工芸	親善試合のため 順位なし	スペイン・ア・コルーニャ 親善大会	1982年
小林 守	(株)匠工芸	11位	オーストラリア・シドニー(29回)	1988年
井上 勝人	(有)山田工作所	14位	スイス・ザンクトガレン(34回)	1997年
木村 亮三	(株)インテリアナス	18位	韓国・ソウル(36回)	2001年
庄司 卓磨	(有)インテリア北匠工房	18位	日本・静岡(39回)	2007年
中島 一樹	(有)ミツマサ	16位	カナダ・カルガリー(40回)	2009年
高橋 誠弥	(有)加藤木工	15位	イギリス・ロンドン(41回)	2011年
林 香	(株)カンディハウス	21位	ドイツ・ライプツィヒ(42回)	2013年
大谷 周平	(株)プレステージジャパン	19位	ブラジル・サンパウロ(43回)	2015年
下條 恭平	(有)ワカサ	敢闘賞	アラブ首長国連邦・アブダビ(44回)	2017年

※国際大会は現在、2年に一度(奇数年)の開催。



アーティストユニット「デージーバルーン」による スペシャルインスタレーション。

「感覚と質」をテーマに掲げ、バルーン（風船）による作品を制作する「デージーバルーン」がインスタレーションを担当。「ヒトモリ（人と森／人・燈）」をテーマに、バルーンと北海道産木材を組み合わせて人と雪や森との「共生」を表現した作品3点を、デザインセンター内各所に展示します。



DAISY BALLOON（バルーンアーティスト）プロフィール

バルーンアーティスト細貝里枝と、アートディレクター・グラフィックデザイナーの河田孝志からなるアーティストユニット。

2008年結成以来、「感覚と質」をテーマに掲げ、バルーンで構成された数々の作品を制作。なかでもバルーンドレスは、繊細さが細部まで行き渡った建築物を思わせ、多くの人々を魅了している。また、彼らは日々、哲学的テーマを探求して、物や人とディスカッションすることをフィールドワークとしているが、その眼差しは常に、他者との本質的な融合に向けられている。



「ヒトモリ」 旭川が持つ「過去から未来」と「人と森の関係性」を、ひとつの物語として作品にしたいと考えました。物語は3つのパートに分かれていて、旭川の文化・風土から、人と森の共生、またそれによって旭川家具が生まれるまでの過程を暗喩として表現しています。旭川の象徴である雪と森と人、それらが交わり合って大きな集合体として輝いていく。旭川家具から世界に放たれる燈を感じていただけたら幸いです。

by DAISY BALLOON



建築家 宮脇 檀 没後20年展

建築家の宮脇檀（みやわきまゆみ）氏は、IFDAの第1回から第3回まで審査委員長を務めるなど、旭川と非常に縁の深い方でした。そのIFDAで出会い宮脇氏と親交を深めたのが、椅子研究家の織田憲嗣氏。亡くなったあと織田氏に遺贈された、宮脇氏の椅子コレクションとデスクまわりの愛用品、住宅模型や図面などをご覧ください。

会期 6月5日(火)～24日(日)10:00～18:00 月曜休館
会場 チェアーズギャラリー(北海道旭川市宮下通11丁目 蔵田夢)



日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念 「スウェディッシュ・グレイス展- Exhibition of Swedish Grace」

スウェーデンの風土が生んだデザインの優雅さを、織田コレクションの椅子と日用品を通して紹介します。ADW開催時期である会期前半はセラミックやガラス、木の日用品を中心に展示します。

会期 2018年4月10日(火)～2019年3月31日(日) ※予定 10:00～17:00 月曜休館
会場 東川町文化芸術交流センターギャラリー(北海道上川郡東川町北町1丁目1番1号)
主催 東川町
協力 織田コレクション協力会、旭川家具工業協同組合



JIA北海道建築展2017巡回展 旭川

2017年7月に札幌チカホ(地下歩行空間)で開催された「JIA北海道建築展2017」の巡回展。建築家の仕事を通して、建築の面白さやまちづくりにもたらす可能性を感じていただけるイベントです。模型展示を中心に、セミナーやワークショップも計画中。

会期 6月5日(火)～7月1日(日)10:30～18:30 期間中休館なし
会場 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー
(北海道旭川市宮下通8丁目3番1号/JR旭川駅東口)
主催 公益社団法人日本建築家協会北海道支部、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館





スペシャルトークイベント 喜多俊之が語る「デザイン・未来」

IFDAの第1回から審査委員、第4回から審査委員長を3度務めた世界的デザイナーの喜多俊之氏。今回は「カッシーナのウィンクチェアが生まれるまでのストーリー」や「日本・北海道・旭川デザインの未来」、「旭川デザイン家具の海外への取り組み」などについてお話いただきます。

日時 6月20日(水) 16:00～17:30

会場 旭川市大雪クリスタルホール 音楽堂（北海道旭川市神楽3条7丁目）

定員 500名



喜多 俊之(プロダクトデザイナー) プロフィール

1969年よりイタリアと日本でデザインの制作活動を始める。イタリアやドイツ、日本のメーカーから家具、家電、ロボット、家庭日用品に至るまでのデザインで、多くのヒット製品を生む。作品の多くがニューヨーク近代美術館、パリのポンピドーセンターなど世界のミュージアムにコレクションされている。また、日本各地の伝統工芸・地場産業の活性化、およびクリエイティブ・プロデューサーとして多方面で活躍する。国際見本市「Living & Design」ディレクター。暮らしのリノベーション「RENOVETTA プロジェクト」を提唱。大阪芸術大学教授。2011年、イタリア「黄金コンパス賞(国際功労賞)」を受賞。2016年、イタリア「黄金コンパス賞」の国際審査員を務める。2017年、イタリア共和国より功労勲章コンメンダトレを受勲。著書に「デザインの力」、「地場産業+デザイン」、「デザインの探検」などがある。

「国産材家具サミット」は、去年のIFFTに続く6回目の開催。

国産の木材を使った家具づくりに取り組むメーカーが、全国の産地から集結。「日本の材料でつくる日本の家具」にこだわる、その意味と現場をリアルに語り合うトークセッションです。



Asahikawa Furniture Industry Cooperative



オープンファクトリー&旭川フルコースもパワーアップ。

旭川の技術と技能、デザイン性、そして脈々と息づくものづくりの姿勢を、現場を通して感じていただくオープンファクトリー。今年も各社が工場を開放して来場者を迎えます。地元のおもてなしフード&ドリンクもお楽しみに。



好評のADWシャトルタクシーが今年も走ります。

今年も期間中、旭川デザインセンターとイベント会場、メーカー各社を効率よく巡ることができるシャトルタクシーを運行します。





初日は夕暮れから、ADWパーティを開催。

初日の6月20日には、地元食材を使った料理と飲み物でお客様を迎えるオープニングパーティを開きます。今までと違った趣向で、より実りある交流の場を演出します。

ADWパーティ

日時 6月20日(水) 18:00～

会場 旭川市大雪クリスタルホール(北海道旭川市神楽3条7丁目)





「君の椅子プロジェクト」12年のあゆみ。

誕生した生命に小さな木の椅子を贈る取り組みは、東川から始まり2018年で13年目を迎えました。参加自治体も剣淵町や愛別町、東神楽町、中川町、そして長野県売木村が加わり、個人参加の「君の椅子倶楽部」を含め大きなプロジェクトになっています。これまでの足跡とともに、旭川家具が製作に関わったかわいい椅子たちをご覧ください。

会期 6月20日(水)～24日(日)

会場 旭川デザインセンター(北海道旭川市永山2条10丁目1-35)



「旭川工芸デザイン協会[ACDA]」恒例の会員展。

旭川を中心に創作活動が続ける、木工やガラス、陶芸、染色などの作家たちが一堂に会する恒例の展覧会です。ものづくりのまち旭川ならではの多彩な表現をお楽しみください。

会期 6月12日(火)～24日(日)

会場 デザインギャラリー(北海道旭川市宮下通11丁目 蔵囲夢)



旭川近郊のまちの 連携イベントも見逃せない。

旭川近郊の自治体でも、ADWと連携したイベントを開催します。旭川からちょっと足を延ばして味わっていただきたい、地域の魅力あふれる企画が登場予定。



このリリースに関するお問い合わせ先

MIRU DESIGN (島田・奥井)

107-0062 東京都港区南青山 2-15-19 フジハイツ 402 TEL 03-6434-7589

E-mail press@miru-design.com <http://www.miru-design.com>

旭川家具工業協同組合(杉本・高橋)

079-8412 北海道旭川市永山 2 条 10 丁目 1-35 TEL 0166-48-4135

E-mail adw-pr@asahikawa-kagu.or.jp <http://www.asahikawa-kagu.or.jp/>

ADWプロジェクトメンバー

渡辺 直行(旭川家具工業協同組合 理事長)、佐々木 雄二郎(ササキ工芸/リーダー)、染谷 哲義(カンディハウス/サブリーダー)、

青森 宏悦(アーリー・タイムス アルファ)、本郷 秀彦(アーリー・タイムス アルファ)、野原 努(アルフレックス ジャパン)、

関口 洋平(いさみや)、吉村 浩平(インテリア北匠工房)、木田 尚史(エフ・ドライブデザイン)、藤田 哲也(カンディハウス)、

岩満 昌史(クリエイティブファニチャー)、長谷川 将慶(大雪木工)、吉田 安志(タイムアンドスタイル)、中井 賢治(匠工芸)、

野原 寛史(メーベルトーコー)、やはずの よしゆき(20パーセント)

Asahikawa Furniture Industry Cooperative

旭川家具
ASAHIKAWA DESIGN